



第 195 回 学長定例記者会見 お知らせ事項 4

令和 8 年 9 月 2 9 日

広島大学 原爆放射線医科学研究所 2026 年度企画展示
『地図を歩いて知るヒロシマ』を開催します
(10/20~1/15 開催)

1. 企画主旨

原爆被爆の証言は、まず「あのとき、どこにいたのか」から語られます。それは、地図上にあのときの自分を位置付ける、ということで、そこから、様々な物語が始まり、私たちは多くのことを知ります。「ヒロシマを知る」ということは、一面、「地図を歩く」ことでもあります。

原爆の学術研究の面でも、地図は重要でした。被災の実相を究明するとき、被爆の前と後の違いをはかるとき、あるいは、被爆者医療を考えると、被爆者の援護や法整備を検討するとき、疫学研究を展開するとき、放射線の問題を考えると、いつも現場には地図がありました。

また、「あのとき」を経験していない現代の私たちは、被爆を継承しようとするとき、地図が重要な手がかりとなり、被爆の問題と自分を繋ぐパスポートとなります。本展示では、こういったことを意識して、地図をキーワードとした展示を行います。

2. 展示について

【期間】 令和 8 (2026) 年 10 月 20 日(火)~令和 9 (2027) 年 1 月 15 日(金)
10:00~16:00(土日祝日・年末年始を除く)

【会場】 広島大学 医学部 医学資料館 (広島市南区霞 1-2-3)

【来場方法】 入場無料 事前予約不要

3. トピック

(1) 特別公開…近距離被爆生存者研究動画

令和 8 (2026) 年 6 月、長崎で開催された第 66 回原子爆弾後障害研究会で公開した動画「近距離被爆生存者 78 名ー被爆の瞬間からの生涯」(原爆放射線医科学研究所製作)を、今回、広島で初めて限定公開します。

* 本動画のベースとなっている「近距離被爆生存者に関する総合医学的研究」は、1972 年より原爆放射能医学研究所(現在の原医研)が取り組んだ、被爆者に関する重要な医学研究であり、近距離被爆生存者とは爆心地から半径 500m 以内で被爆した生存者のことである。本研究の結果、78 名が確認された。

(2) 特集…「復刻地図の世界」

広島のお洒落古書店「あき書房」がこれまでに刊行した数々の広島復刻地図を特集します。同書房では、店主・石踊一則氏によって、戦前期から戦後期のあいだに発行された重要な地図が復刻され続け、それらは現在、昔の広島を知るため、また地域の変遷を理解するための重要な資料となっています。

(3) その他、原医研所蔵「爆心復元運動」、「近距離被爆生存者に関する総合的医学研究」に関連する資料などを展示する予定です。

【お問い合わせ先】

広島大学原爆放射線医科学研究所附属被ばく資料調査解析部
（担当：久保田）TEL:082-257-5877

地 図 を 歩 い て 知 る ヒ ロ シ マ

特別公開

近距離被爆生存者研究動画

今年6月、長崎で開催された第66回原子爆弾後障害研究会で公開した動画「近距離被爆生存者78名―被爆の瞬間からの生涯」を、今回、広島で初めて限定公開します。

特集 復刻地図の世界

広島のお舗古書店「あき書房」は、多くの古い広島地図を精力的に復刻していますが、今回はその世界を皆様に紹介したいと思います。

会 期

2026年 10月20日(火)

～2027年 1月15日(金)

会 場

広島大学医学部
医学資料館

広島大学霞キャンパス(大学病院前)

入 場 無 料

主催 広島大学原爆放射線医科学研究所

共催 放射線災害・医科学研究拠点

(広島大学・長崎大学・福島県立医科大学)

協力 広島大学医学部

企画・製作 原爆放射線医科学研究所附属被ばく資料調査解析部